

平成 1 9 年 度

江田島市健全化判断比率及び  
資金不足比率審査意見書

江 田 島 市 監 査 委 員



江 監 第 25 号  
平成 20 年 9 月 5 日

江田島市長 曾 根 薫 様

江田島市監査委員 栗 本 勲 二

江田島市監査委員 小 西 俊 明

**平成 19 年度健全化判断比率及び資金不足比率の審査意見について**

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第 3 条第 1 項及び同法第 22 条第 1 項の規定により、審査に付された平成 19 年度健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類並びに平成 19 年度資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類について審査を終了したので、次のとおり意見を提出します。



# 平成19年度 財政健全化審査意見書

## 第1 審査の対象

- 平成19年度決算に基づく実質赤字比率
- 平成19年度決算に基づく連結実質赤字比率
- 平成19年度決算に基づく実質公債費比率
- 平成19年度決算に基づく将来負担比率

## 第2 審査の期間

平成20年8月25日から平成20年9月3日

## 第3 審査の場所

監査委員事務局

## 第4 審査の概要

この財政健全化審査は、市長から審査に付された健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類が適正に作成されているかどうかを主眼として実施した。

## 第5 審査の結果

### (1) 総合意見

審査に付された下記、健全化判断比率及び算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められる。

記

(単位：%)

健全化判断比率	平成19年度	早期健全化基準	備考
①実質赤字比率	—	13.39	
②連結実質赤字比率	—	18.39	
③実質公債費比率	15.9	25.0	
④将来負担比率	159.3	350.0	

(注) 比率がない場合は「—」を記載している。

(2) 個別意見

①実質赤字比率について

平成19年度の実質赤字比率は生じていない。

②連結実質赤字比率について

平成19年度の連結実質赤字比率は生じていない。

③実質公債費比率について

平成19年度の実質公債費比率は15.9%となっており、早期健全化基準の25.0%と比較すると、これを下回り良くなっている。

④将来負担比率について

平成19年度の将来負担比率は159.3%となっており、早期健全化基準の350.0%と比較すると、これを下回り良くなっている。

(3) 是正改善を要する事項

特に指摘すべき事項はない。

## 平成19年度 経営健全化審査意見書

### 第1 審査の対象

平成19年度決算に基づく資金不足比率

### 第2 審査の期間

平成20年8月25日から平成20年9月3日

### 第3 審査の場所

監査委員事務局

### 第4 審査の概要

この経営健全化審査は、市長から審査に付された資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類が適正に作成されているかどうかを主眼として実施した。

### 第5 審査の結果

#### (1) 総合意見

審査に付された下記、資金不足比率及び算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められる。

記

(単位：%)

会計名	平成19年度	経営健全化基準	備考
公共下水道事業（能美地区）会計	—	20.0	
交通船事業会計	0.7		
国民宿舎事業会計	—		
水道事業会計	—		
公共下水道事業特別会計	—		
農業集落排水事業特別会計	—		
地域開発事業特別会計	—		

(注) 比率がない場合は「—」を記載している。

## (2) 個別意見

### ①公共下水道事業（能美地区）会計

平成19年度の資金不足比率は生じていない。

### ②交通船事業会計

決算審査意見書に記載した交通船事業の財務の短期流動性を表示する流動比率は91.6%となっているが、経営健全化審査における資金不足比率を算出するにあたって、実質的な資金不足額を把握するため平成20年度に償還する企業債の予定額を「1年基準」に基づき流動負債に算入して計算すると実質流動比率は51.8%となる。

したがって、実質的な資金不足比率は7.2%となるが、経営健全化基準の20.0%と比較すると、なお、良好な状態にあると認められる。

### ③国民宿舎事業会計

平成19年度の資金不足比率は生じていない。

### ④水道事業会計

平成19年度の資金不足比率は生じていない。

### ⑤公共下水道事業特別会計

平成19年度の資金不足比率は生じていない。

### ⑥農業集落排水事業特別会計

平成19年度の資金不足比率は生じていない。

### ⑦地域開発事業特別会計

平成19年度の資金不足比率は生じていない。

## (3) 是正改善を要する事項

特に指摘すべき事項はない。